

Garden & Exterior

MAINTENANCE BOOK



SHOYOU Co., Ltd.

2025

お手入れガイド 北海道版

カーポートについて

Garden & Exterior
SHOYOU Co., Ltd. 2025

通常のお手入れ

→表面の汚れを放置すると染み、腐食、色落ちする恐れがあります。

1,表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布に水を浸し、洗い落とす。

2,水拭きする

柔らかい布やスポンジで全体を水拭きする。

※水拭きで落ちない場合は

中性洗剤(1%~2%の水溶液)で軽く洗い流す

3,水分をふき取る

柔らかい乾いた布で水分をふき取る

※この時強くこすると表面の塗膜を傷める恐れがあります。

冬期間のお手入れ

●凍結する前にゴミ出しエルボのキャップを外しておいてください。雨樋内での凍結破損のリスクを低減することができます。

●暖気が入る時期は昼夜の寒暖差で雪が締め固まります。大変重く危険なため、定期的に雪を下ろすようにしてください。場合によっては耐荷重制限を超過し倒壊する恐れがあります。雪下ろし時にカーポートの上に乗ることは危険ですのでおやめください。



使用上のご注意

●お手入れ時に、乾いた布、シンナーやベンジン、研磨剤、熱湯を使用すると、破損・変形を招く恐れがあります。鳥のフンなどをへらで取り除く際はパネルを傷つけないようご注意ください。金属製のへらやブラシは表面の塗膜を傷つけるので使用しないでください。

YKKAPジーポートProシリーズの
取扱説明書です。ご覧ください。



※他メーカーも
基本的には同様の考え方です。
ご不明点は弊社まで



お手入れガイド 北海道版

アスファルト舗装について

通常のお手入れ

●アスファルト舗装の特徴

アスファルトは粘り気のある石油製品で、骨材(碎石、砂、石粉)を一体化させる接着剤のような役割をしています。敷きたてのアスファルトは熱で柔らかくなり始める軟化点があり、おおよそ50℃前後です。日差しや外気温で表面温度がこの軟化点に達すると、タイヤで凹む、変形するなどが起こる可能性が高まります。また軟化することで地下茎で増殖する植物類が地中から突き抜けてくることもあります。

1,散水により、表面温度を下げ一時的に軟化を防ぐ

十分な散水をおこなうことで、気化熱によりアスファルト表面温度を下げるができます。これにより凹みや変形を軽減することができます。

2,雑草の突き抜けには除草剤を撒く、周辺の雑草を処理する

※雑草の突き抜けが酷く表面の舗装がぼろぼろと崩れる場合はメンテナンスをお呼びください。有償ではありますが、舗装の寿命を延ばすことができます。

3,竹ぼうきなどで掃き掃除をする。水洗いをする。

アスファルト舗装の表面に砂利があると舗装面の破損の原因になります。また、砂ぼこりと混じって草の種が付着すると発芽する可能性もあります。定期的な掃き掃除や散水による掃除をして下さい。



タイヤによる凹み



除雪機による凹み
※自転車のスタンドでも
このように凹みます。



スギナによる突き抜け

冬期間の注意事項

- ・アスファルト舗装の上で氷割りをしないでください
- ・雪かきスコップで表面を強く擦らないでください
- ・お湯をかけないでください
- ・昼夜間の寒暖差で夜間にブラックアイスバーンになる場合がありますので転倒に注意してください
- ・融雪剤を撒くと劣化や染みを引き起こします

特に夏場の路温上昇は思ったよりも大きいものです。上記を実践し注意していても起こりえますし、製品不良というわけではありません。有償でのメンテナンスを実施していますのでお申し付けください。

また経年変化により路温上昇の仕方は変化します。経過に合わせてお手入れをおこなってください。

お手入れガイド 北海道版

コンクリート舗装について

通常のお手入れ

●コンクリート舗装/土間コンクリートのお手入れ

敷きたてのコンクリートの表面は汚れが目立ちやすいです。特にタイヤの痕はよく目立ちます。タイヤの痕が付く理由は、タイヤとコンクリートの摩耗です。特にタイヤの切り返し時に大きな負担がタイヤにかかり擦れて痕が付きます。これによる強度の低下や耐久性の低下はなく問題はありません。またコンクリート打設時に凝結する際の化学反応により生じる熱や打設後の乾燥収縮が原因でヘアクラック(髪の毛程度の太さのひび割れ)が生じることもありますが品質上問題はありません。また打設範囲によっては乾燥時間の違いにより色むらが発生することありますがこちらも品質上問題はありません。

1,水とデッキブラシで定期的に掃除をする

表面に付着した汚れは水とデッキブラシで擦ると取れることがあります。高圧洗浄機をかけることもできますが、出力によっては表面を傷める可能性もあります。目立たない箇所で高圧洗浄機を地面から離れた位置から試すなどして試してからご使用ください。洗剤は変色や表面の劣化を招く恐れがあるため使用しないでください。

2,大きくひび割れた場合は業者を呼ぶ

大きなひび割れは様々な原因が考えられます。放置せずに担当者や弊社までご連絡をお願いいたします。早期の対策がコンクリート舗装の延命につながります。

3,砂ぼこりや砂利は柔らかいほうきで掃き掃除をする

砂ぼこりや砂利が舗装面にある状態で駐車を繰り返すと摩耗が強まる場合がございます。定期的に掃き掃除をお願いいたします。

目地に人工芝を使用する場合は、落ち葉や埃の付着が発生しやすいため、定期的な取り除きをお願いいたします。放置すると苔や雑草の発生につながります。

冬期間の注意事項

- ・舗装の上で氷割りをしないでください
- ・雪かきスコップで表面を強く擦らないでください
- ・お湯をかけないでください
- ・昼夜間の寒暖差で夜間にブラックアイスバーンになる場合がありますので転倒に注意してください
- ・融雪剤を撒くと劣化や染みを引き起こします



お手入れガイド 北海道版 コンクリート舗装について

有償メンテナンスのご案内

1, ひび割れ補修材

コンクリートのひび割れを補修する製品があります。

2, 補修仕上げ材

経年劣化に対して打ち直し無しで補修コーティングが可能な製品があります。仕上がりはコンクリート近似色のため新品の土間コンクリート舗装の風合いとは異なります。

3, その他

砂利+特殊ウレタン樹脂による塗装 など

現地調査などを経て、どのような補修ができるかをご案内させていただきます。

お手入れガイド 北海道版 人工芝について

メンテナンス方法

1. ゴミや枯葉の除去（週～月1回）

ブロワー、ほうき、熊手で落ち葉・砂・ゴミを取り除きます。

金属製の硬い熊手は芝を傷つけやすいので、プラスチック製の熊手等が最適です。

2. 毛並みを整える「ブラッシング」

人工芝は踏圧や雪で寝ていきます。デッキブラシや人工芝用ブラシで毛足を逆立てるようにブラッシングします。

特によく歩く場所・車が乗る場所は定期的に行うと、ふかふか感が戻ります。

注意事項

無理に除雪すると人工芝が裂けたり毛が寝るため、踏み固まらない雪は自然に溶かすのがベストです。雪かきする場合はプラスチックスコップを使い、できるだけ地表面に突き立てたりこすらないようにしてください。



お手入れガイド 北海道版

インターロッキングについて

通常のお手入れ

●インターロッキングとは

インターロッキングとはコンクリート製のブロックをかみ合わせるように敷設したものを指します。あらゆる場面でよく採用される舗装のひとつです。

1, 日常の清掃

表面に付着した汚れは水とデッキブラシ、ほうきでの清掃が基本です。こびりついてしまった汚れは高圧洗浄機での清掃もできますが、出力によっては表面を傷める可能性もあります。目立たない箇所で高圧洗浄機を地面から離れた位置から試すなどして試してからご使用ください。洗剤は変色や表面の劣化を招く恐れがあるため使用しないでください。

2, 雑草対策

枯れ葉や砂、泥などが目地(かみ合わせたブロックとブロックの隙間)にたまると雑草の発生原因になります。特に風が吹き込み滞留するところや近隣環境によってはあっという間に生えてくることもあります。早めに抜き取る等の除草が必要です。

3, 目地砂の充填

雨風、掃除、雑草抜きなどで目地砂が徐々に減少していきます。目地砂が抜けてしまうとブロックがガタつく原因になるため、定期的に砂を充填してください。

●もし割れてしまったら…

→破損箇所を交換することで有償メンテナンスが可能です。

●もし沈みはじめたりズレ始めてしまったら…

→例えば雨水の通り道になっているなどの原因がありますので、対策を立てて有償メンテナンスをすることが可能です。

早期に対応することで軽微なメンテナンスで済む場合が多いため、担当者までご連絡ください。

冬期間の注意事項

- ・舗装の上で氷割りをしないでください
- ・雪かきスコップで表面を強く擦らないでください
- ・お湯をかけないでください
- ・昼夜間の寒暖差で夜間にブラックアイスバーンになる場合がありますので転倒に注意してください
- ・融雪剤を撒くと劣化や染みを引き起こします
- ・雪解け後に凍上の影響を受け凹凸が生じることがあります。地中の水分が抜けていく過程で凸凹が



お手入れガイド 北海道版

ドライテック

(透水性コンクリート舗装)について



通常のお手入れ

●ドライテック(透水性コンクリート舗装)とは

ドライテックとは透水性コンクリート舗装材の一種で、雨水を地面にしみ込ませる性能を持つ、環境配慮型の舗装材料です。地下水の涵養やヒートアイランド現象の抑制に期待できます。

1.目詰まり防止のための定期的な清掃

透水性を維持するための清掃をすることをおすすめいたします。砂や土、落ち葉が表面にたまると透水性が低下するため、定期的にほうきやブロワーでの清掃をお願いいたします。こびりついてしまった汚れや目詰まりは高圧洗浄機での清掃もできますが、出力によっては表面を傷める可能性もあります。目立たない箇所で高圧洗浄機を地面から離れた位置から試すなどして試してからご使用ください。洗剤は変色や表面の劣化を招く恐れがあるため使用しないでください。

2.雑草対策

湿気が多いところでは表面に苔が生じることがあります。ブラシでの擦り洗いをしてください。また風が吹き込み滞留しやすい場所では種がたまり発芽する可能性もあります。早期に抜き取りなどをおこなってください。

注意事項

コンクリート製品のため、クラック、白華現象、収縮が生じることがあります。冬期の凍上による路盤の持ち上がりによって、一時的にひび割れが目立つ場合がありますが、路盤の凍結がとけ凍上がおさまると舗装面のひび割れが目立たなくなる場合が多いです。骨材は点接着のため完全に接着されない部分が必ず生じます。それに起因するセメントペーストの剥離、骨材の剥離、飛散が起きますが、軽微な場合は仕様上の特性であり、性能上、強度上に問題はありません。

※大きな沈下や陥没、剥離が見られた場合は、種々の原因が考えられますのでお早めに担当者までご連絡をお願いします。

冬期間の注意事項

- ・舗装の上で氷割りをしないでください
- ・雪かきスコップで表面を強く擦らないでください
- ・お湯をかけないでください
- ・昼夜間の寒暖差で夜間に表面が凍結する場合がありますので転倒に注意してください
- ・融雪剤を撒くと劣化や染みを引き起こします

透水性が低下した(目詰まりした)状態で冬を迎えると、凍結時の膨張で舗装面が割れるリスクが高まります。
冬を迎える前に舗装面をチェックし、清掃をしてください。

お手入れガイド 北海道版

SHOYOU Co., Ltd. 2025

ブロック・レンガ・タイル等のウォール(壁)



通常のお手入れ

●経年変化(年を経て風合いが変わること)による味わいを感じることができるもので、周辺環境へと馴染むことで調和が生まれます。少々の汚れや風化はあまり気にしないほうがいいです。ただし白華現象がある場合は適切に早めのお手入れをすることで大きく風合いを損ねずに済みますので、下記を参考にお手入れをお願い申し上げます。

1,白華現象

コンクリートやレンガなどの表面に白い粉や結晶のようなものが浮き出てくる現象のことです。エフロレッセンスとも呼ばれます。コンクリート・モルタル・レンガ・インターロッキングなどの内部に含まれる可溶性の塩類（カルシウム、ナトリウム、カリウムなど）が、雨水や地下水などの水分に溶け出し表層に水溶液が移動し乾燥する際に結晶成分が残る現象です。美観低下が主な問題であり、構造的にすぐに劣化させるわけではありませんが長期的な放置は表層を脆弱化させるケースもあります。

2,お手入れ方法

水溶性の汚れなので水洗いが有効です。白華汚れがひどい場合はナイロンブラシ等で軽くこすることで除去することができます。

冬期間の注意事項

- ・融雪剤の使用に注意
 - ・塩化カルシウム・塩化ナトリウムなどの融雪剤はコンクリートやレンガ内部のアルカリ分と反応しやすいため使用しないでください。
- ・除雪作業時の配慮
 - ・金属製のスコップやで表面を傷つけるとそこから水分が浸入する可能性がありますので気を付けて除雪をおこなってください。
- ・春先の雪解け時に発生しやすいため、こまめに確認をしてください。

お手入れガイド 北海道版

塗り壁・吹き付けについて

通常のお手入れ

●塗り壁面に付着したほこりを払うように、模様付けの目に沿って掃き出してください。やや硬めの箒を使用すると傷がつきにくいいためおすすめです。デッキブラシなどで擦ると傷がつく可能性があるため控えてください。

雨だれなど汚れ除去

●薄めた中性洗剤を使用し汚れを浮かしだしホースの流水で洗い流してください。高圧洗浄機は塗り面を痛める可能性がありますのでご注意ください。



お手入れガイド 北海道版

床仕上りタイルについて

汚れにくいタイルについても
お手入れをすることでその美しさを保つことができます。

1. 日常的なメンテナンス

乾いた汚れ（砂・ホコリ）

→ ほうきやブロワーで定期的に清掃をすることで美観を保つことができます。

2. 季節ごとのメンテナンス

春（雪解け後）

- 融雪剤（塩化カルシウム）の残留を水洗いで流す。
 - タイル目地の割れや浮きの点検。
- 冬期間にできた細かいひび割れに水が浸入すると、
白華現象や剥離につながるためお早めに施工店にお問合せください。

夏

- カビ・苔対策：日陰や水回りタイルは苔や黒カビが発生しやすい。
定期的な日常メンテナンスをしてください。

秋

- 落ち葉や土埃を放置するとシミや変色の原因に。
定期的な日常メンテナンスをしてください。

冬

- 除雪注意：金属スコップは避け、樹脂製やゴム付きスノープッシャーを使用。
- 融雪剤の多用禁止：白華現象やタイル剥離の原因になります。



お手入れガイド 北海道版

SHOYOU Co., Ltd. 2025

アルミ製品・ステンレス製品について

『アルミについて』

アルミは錆びにくい性質を持ち、メンテナンスの手間がさほどかからない金属です。

しかし、表面に付着した汚れを長期間放置すると腐食の原因になります。それを防ぐには、年数回の水洗いと乾拭きが有効です。汚れをためないお手入れが、施工時の美しい光沢を守ることにつながります。

●アルミ腐食の原因

アルミの腐食の原因は、大気中に含まれるほこり、すす、鉄などの金属粉、自動車の排気ガス、海塩などです。これらがアルミの表面に付着し長期間放置されると、湿気や雨水の影響によって腐食していきます。

『ステンレスについて』

ステンレスは耐食性に優れた錆びにくい金属ですが、使用条件や環境により汚れがたまったり付着物によるもらいサビが発生します。ステンレスの美観を保つためには年に3~4回の水拭きと乾拭きのお手入れをおすすめいたします。

●ステンレスの錆びる原因

ステンレス製品にはクロムが含有されており、この成分が空気中の酸素と結合し、ステンレス表面に酸化被膜を形成します。この被膜が錆を防ぐ働きをしますが、汚れなどによってこの被膜が破壊されるとそこにももらいサビが発生します。主な原因は土、ほこり、鉄粉、排気ガス、海塩などです。

『お手入れ方法』

1,軽い汚れ

- ・水、やわらかいスポンジまたは布

スポンジまたは布を水で濡らしアルミ分부를拭きます。その後乾いた布で乾拭きします。

2,ひどい汚れ

- ・水、中性洗剤、やわらかいスポンジまたは布

中性洗剤を1~2%の割合で水で薄め、布またはスポンジを濡らしアルミ部分を拭きます。洗剤が残らないように水洗いし仕上げに乾いた布で乾拭きします。※ステンレスの汚れがうまく除去できない場合はステンレス用清掃薬剤を使用してください。

※注意事項

洗剤は中性洗剤を使用し、酸性洗剤は避けるようにご注意ください。

金属たわしや金属ブラシなどは表面を傷つけるため使用しないでください。

清掃箇所以外の他の部位に強い処理が及ばないようにご注意ください。



お手入れガイド 北海道版

樹脂デッキ、物置、ガレージ、その他製品

メンテナンスに関して

各メーカーのカタログに詳細が記載されています。

ホームページ、カタログ、取り扱い説明書を参考にメンテナンスをお願い申し上げます。

